

かつらざわ

# 桂沢ダムの防災操作と効果 (平成24年9月12日)

いくしゅんべつ

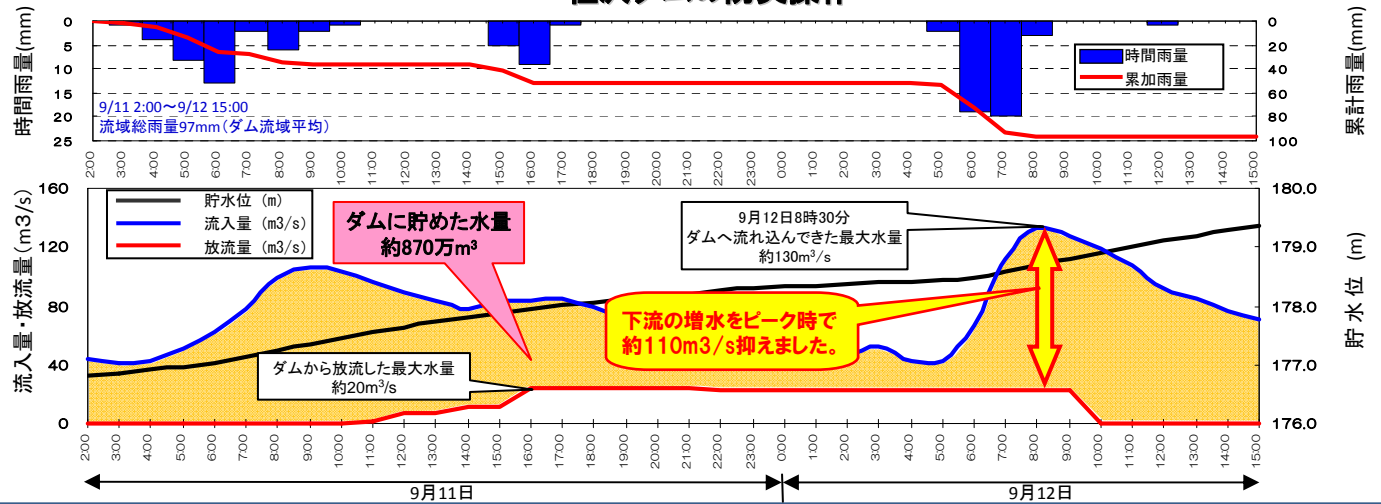
## ～幾春別川の水位を約1m低下～

- 平成24年9月9日からの雨により、石狩川水系桂沢ダム上流域では総雨量205mmを観測し、ダムへの最大流入量は約130m<sup>3</sup>/sの流入量を記録しました。
- 今回の防災操作において、ダムでは約870万m<sup>3</sup>(札幌ドーム約6個分)の水を貯留し、下流の河川へ流す水量を最大で110m<sup>3</sup>/s(約8割)低減させました。
- この結果、ダム下流の西川向水位観測所地点(岩見沢市新川橋付近)では、水位を約1m低下させ、避難判断水位の超過を抑えることが出来たと推定されます。

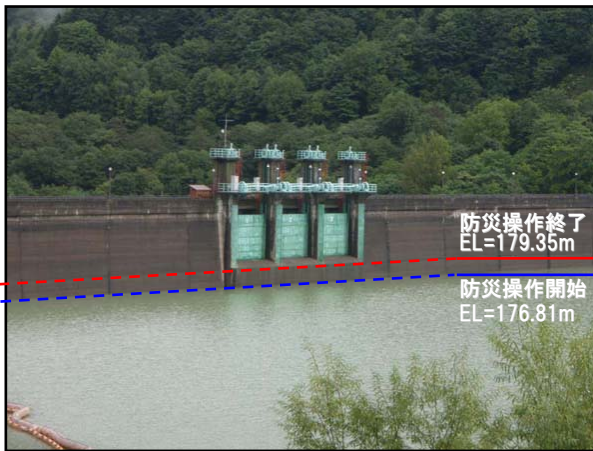
### 桂沢ダム位置図



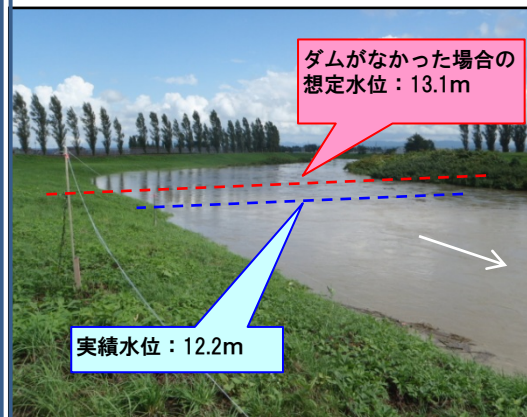
### 桂沢ダムの防災操作



### 桂沢ダム貯水状況



### 西川向水位観測所付近



### 西川向水位観測所地点における水位低減効果

